

# 優良賞

## 成長

高 菲  
G A O F E I

私は、平凡な家庭で生まれました。一番好きな事は、お洒落です。一人っ子ですから性格は、わがままです。欲しい物は、直ぐ母に買って貰いましたが父は、いつも厳しかったです。

小学三年生の時、同じクラスの子が綺麗なスカートを穿いて皆から褒めて貰っていました。その時私は、とても羨ましかったです。家に帰って、母にスカートが欲しいと言いました。母は、賛成してくれましたが父は反対でした。

父は、「学生は、勉強が一番大事、そんな無駄な物は必要ない」と言いました。でも私は、諦めませんでした。もう一度母に言いました。母は、父に気付かれないようにスカートを買ってくれました。私はとても嬉しかったです。しかし、父はスカートを買った事を知りました。父は、いつまで経ってもスカートを穿かせてくれませんでした。その時から私は、父の事が嫌いになりました。

学校を卒業してから会社で働いている時、若いうちに外の世界へ出てみたいと云う気持ちになりました。

両親に自分の考えを伝えました。母は、私の気持ちを分ってくれて「あなたも子供じゃないから自分の道は自分で決めてもいいよ」と言ってくれました。しかし、父は逆の意見で「今の仕事は楽し給料もいいし別の国へ行く必要はない」と言いました。でも私は、父の意見を聞

きませんでした。日本研修生を申込みました。

合格した時の母は、日本へ行く事をとても心配してくれました。父は、何も言いませんでした。

そして南京へ集合研修に行きました。外の世界は、私の想像とは全然違いました。人とのコミュニケーションや社会での競争力の激しさを感じました。こんなに長い時間両親と離れたのは初めてでしたから一切の事は自分でやりました。その時、私は両親の気持がちょっと分る様になりました。

集合研修が終って家へ帰る時、父は駅まで迎えに来てくれました。人が多く父を捜していると父は私の名前を叫んでいました。父の顔を見た時、白髪やしわが多くなったと感じました。父は何も言いませんでしたが一言「お帰り」と言ってくれました。荷物を持って歩いている父の後ろ姿を見て私は泣かずにはいられなかったです。父は、前より小さく見えいつも強かった父が弱くなった様に感じました。

そして過ぎ去った今までの事が頭に浮かびました。食べたい物があればいつもくれたのは父です。病気をした時、私の為にお湯を作ってくれたのも父です。その時、私は今まで持っていた父に対する嫌な気持が全部なくなりました。そして、私は今まで大切に育ててくれた両親に恩返しをしなければと思いました。その時、私はちょっと大人になった気がしました。

区 分	研修生
国 籍	中国
職 種	電子機器組立て
受入れ企業	一身電器株式会社
受入れ団体	三重 ELC 事業協同組合